

世界と武蔵野市を音楽でつなぐ

第8回

武蔵野市国際 オルガンコンクール

9月9日～18日の10日間にわたり、市民文化会館で「第8回武蔵野市国際オルガンコンクール」が開催され、延べ1200人以上がパイプオルガンの荘厳な調べに聴き入りました。



入賞者5名。前列左から、千田寧子さん、トーマス・エドウィン・ゲイナーさん、アマンダ・モールさん、カテリーン・エマーソンさん、木村理佐さん。後列は、審査委員と邑上前市長。

世界でも注目される
パイプオルガンの晴れ舞台

第8回となった今回は、世界16カ国57名から応募があり、オーディションで選ばれた9カ国15名が出場しました。さらに第1次と第2次予選を経て、5名が9月17日の本選の舞台に立ち、それぞれの演奏を披露。厳正な審査により、アメリカのアマンダ・モールさんが優勝を飾りました。

4年に1度開催される本コンクールが始まったのは1988年のこと。市民文化会館の開館時（1984年）に、市民の要望に応える形で、都内公立ホールで初のパイプオルガンが設置され、優秀なオルガニストの育成と国際交流の活発化を目的に、市と武蔵野文化事業団、日本オルガニスト協会の3者が協力して実現しました。

国際コンクールとしての質の向上に努めながら開催を続けて、回を重ねるごとに国際的な評価は高まり、2003年にはシヨパンコンクールなどが名を連ねる国際音楽コンクール世界連盟へ加盟。現在は、パイプオルガン奏者の登竜門の一つ、また、アジア唯一の国



際オルガンコンクールとして知られるようになりました。

**パイプオルガンの魅力を
武蔵野市から広げよう**

世界に誇る市のオルガンコンクールとその魅力を、多くの方に向けてもらおうと、予選に向けて、さまざまな場所でイベントも行いました。武蔵野プレイスやコミセンのほか、アトレ吉祥寺などの民間施設へ小型パイプオルガン

市民文化会館のパイプオルガンは、3段鍵盤と足鍵盤、41ストップ（音色数）を備えたデンマークのマルクーセン社製。2016年度に行われた整音でさらに輝きを増した音色が、コンクールの聴衆を魅了した。

を運んで演奏した街角コンサートや、小学校での演奏、過去のコンクール優勝者や審査委員によるコンサートも開催しました。また、過去の入賞者が世界の第一線で活躍して、再び武蔵野市を



優勝した
アマンダ・モールさん
(アメリカ)

受賞の瞬間は、興奮、感謝
…言葉では言い表せませ
ん。名誉あるコンクール
で優勝できて、本当に光栄
です。また2019年※にお
会いしましょう！

※2019年度にアマンダ・モール優勝記念コンサートとCD発売が予定されています。



第二小学校で阿部翠さんによるオルガン演奏会。



アトレ吉祥寺ゆらぎの広場で、山口綾規さんによる街角コンサート。

♪ 本格的なパイプオルガンの演奏を楽しんでみませんか？

「松居直美 バッハ：オルガン作品 全曲演奏会」

武蔵野市在住で世界を舞台に活躍するオルガニスト松居直美さんが、200曲以上にも及ぶバッハのオルガン全作品を、2014年から年2回のペースで6年かけて演奏するコンサート・シリーズです。

《第6回》2018年 6月15日(金) 午後7時開演
トッカータとフーゴドリア調、ピエス・ドルク ほか

《第7回》2018年10月27日(土) 午後2時開演
協奏曲(全5曲)

武蔵野市民文化会館小ホール

予約受付開始：平成30年1月8日(月・祝) 午前10時から
申込：武蔵野文化事業団チケット予約 ☎0422(54)2011

www.musashino-culture.or.jp
(予約開始日は電話かインターネットでのみ受付)

訪れる機会も増えてきました。
第1回コンクールで第3位入賞したフランソワ・エスピナスさんは、フランスを代表するオルガニストの一人として、今回の審査委員に。第3回コンクールで第2位だった廣江理枝さんと、第3位だったシン・ドンイルさんも、後にフランスのシャルトル国際オルガンコンクールでも優勝し、今回の審査委員を務めました。
第7回コンクールで初めて日本人の優勝者となった福本茉莉さん

は、その後ドイツのニュルンベルク、イタリアのブリクセンおよびピストリアの国際コンクールで優勝。9月8日にはコンクールの「オープニング・コンサート」に出演しました。世界から注目される若手パイプオルガン奏者の一人として、活躍しています。
世界共通の感動を与えてくれる、パイプオルガンの美しい響き。まだ聴いたことがないという方は、ぜひ一度足を運んでみてくださいます。